

日本第四紀学会・講習会開催のお知らせ

「土器の野焼きと調理に関する実験考古学」

概要：考古資料の痕跡パターンから過去の人間行動を解釈するためには民族誌研究や実験研究が欠かせません。本会では先史・古代の土器作り技術や調理形態の復元に関わる民族考古学、実験考古学の研究実践を紹介し、以下の2つのテーマにそって実験考古学のワークショップを開催します。

- ① 弥生時代以降に列島に広がった「覆い型野焼き」のバリエーション
- ② 先史・古代の炉やカマドにおける「土鍋調理」のスス・コゲパターン

主催：日本第四紀学会

共催：東北芸術工科大学考古学研究室・野焼き研究会

会場：東北芸術工科大学・文化財保存修復研究センター（本館南側）1階歴史遺産研究室  
〒990-9530 山形市上桜田 3-4-5

対象：日本第四紀学会会員（要事前登録）、考古学研究者、学生

参加費：一般 500 円（ワークショップ材料費）、学生は無料

問合せ：北野博司（東北芸術工科大学歴史遺産学科）

TEL023-627-2026（直通）、FAX023-627-2272（共通）

kitano@aga.tuad.ac.jp

日程：

6月7日（土）14:00～17:30

13:00～受付開始・実験土器の見学

14:00～発表

- |                        |                         |
|------------------------|-------------------------|
| 「民族誌からみた土器の野焼き技術」      | 小林正史（北陸学院大学教授）          |
| 「スス・コゲからみた古代の土鍋の使用形態」  | 北野博司（東北芸術工科大学准教授）       |
| 「土器付着炭化物の正体をさぐる」       | 庄田慎矢（日本学術振興会特別研究員）      |
| 「炭素年代測定と安定同位体を用いた食性研究」 | 宮田佳樹（国立歴史民俗博物館科研費支援研究員） |

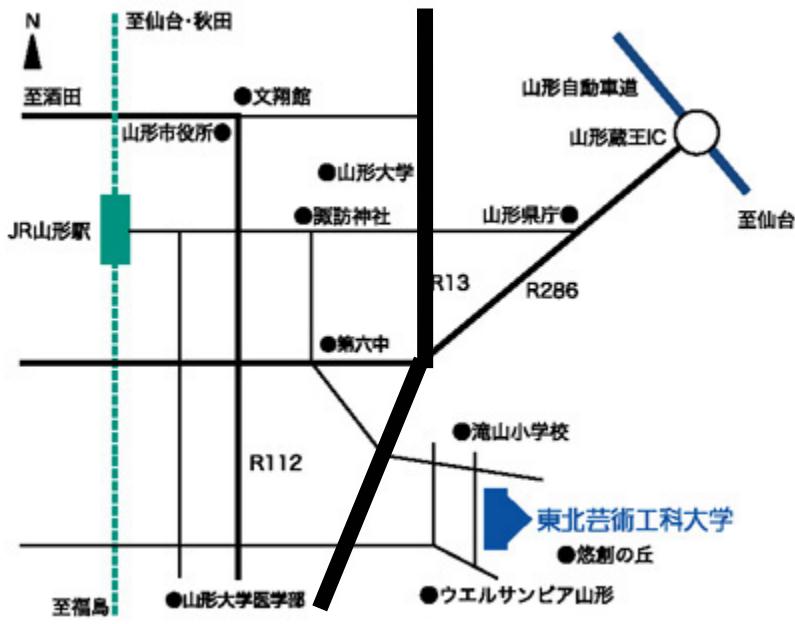
6月8日（日）8:30～14:00

**野焼き・調理実験ワークショップ**

実験の観察・記録作成を参加者の皆さんで行います。

※ 雨天の場合は日程が変更になることがあります。

6月8日の昼食は調理実験の料理を試食します。



6/7 研究発表会場

6/8 ワークショップ会場

